

かごしまよかとこ巡り
旅ガラスのごとく広い県土
を飛び回り、お薦めの観光
スポットを紹介します。

砂丘のまちで アートと名湯に浸る旅

日本三大砂丘の一つであり、薩摩半島の東シナ海側のほぼ全域といつていいほどに白砂青松の砂浜が続く吹上浜。今回は、吹上浜沿いの南さつま市と日置市のおすすめスポットをご紹介します。

2 ばんせい 万世特攻平和祈念館

南さつま市加世田高橋



太平洋戦争末期の陸軍最後の特攻基地である「万世飛行場」跡に、平和への思いを込めて建設されました。

館内には、吹上浜沖から引き揚げられた零式水上偵察機のほか、特攻を前にした隊員たちの最後のメッ

セージや血書、遺品、遺影などが数多く展示されています。

【所在地】南さつま市加世田高橋1955-3

【入館料】大人 300円

【営業時間】午前9時～午後5時

小人 200円

【休館日】(入館は午後4時30分まで)

【駐車場】50台

12月31日、1月1日

万世特攻平和祈念館 ☎0993 (52) 3979

1 くじらの眠る丘

南さつま市大浦



平成14年に旧大浦町小湊干拓海岸で集団座礁した14頭のマッコウクジラ。そのうちの1体を使った県内初のマッコウクジラ全身骨格標本展示施設です。前面をガラス張りにした館内では、1階から骨格全体が、2階ロフトからは斜め上部のダイナミックな骨格像が見渡せます。

【所在地】南さつま市大浦町29451

【開館時間】1階部分 いつでも自由に観覧できます。

2階部分 午前9時～午後5時

【休館日】年中無休

【入館料】無料

【駐車場】50台

南さつま市観光交流課 ☎0993 (53) 2111

3 吹上浜砂の祭典

南さつま市金峰町高橋

ゴールデンウィークから1カ月間開催される日本最大級の砂のイベント。国内外のアーティストや地元制作団体による迫力ある砂像群と花々で空想の世界を創り出します。ゴールデンウィークの夜には音と光のファンタジーも開催され、見る人を夢の世界に誘います。

【会期】5月31日(日)まで

【会場】メイン会場/砂丘の杜きんぼう内 特設会場(南さつま市金峰町高橋4148-1)

サテライト会場/県立吹上浜海浜公園、南さつま市内各地域

吹上浜砂の祭典実行委員会(南さつま市商工観光交流課内) ☎0993 (53) 2111

今年の砂像テーマは、ハッピードライブ
～時代を映すのりもの世界～





5 江口浜海浜公園 日置市東市来町伊作田

休憩所やイベント広場などが完備された吹上浜初の人工ビーチで、海水浴やカヌー、スタンドアップパドルなどのマリンスポーツを満喫できます。東シナ海に面しており、夕日が美しいことでも有名なスポットです。

隣接する物産館「江口蓬莱館」では、江口漁港で水揚げされた新鮮な魚介類などを販売。併設するレストランではおいしく味わうことができます。

【駐車場】100台(利用は午前8時30分～午後6時)

日置市東市来支所地域振興課 ☎099(274)2112



【所在地】日置市東市来町美山1051番地

【開館時間】午前8時30分～午後5時

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合を除く)、年末年始(12月29日～1月3日)

7 しらす丼

吹上浜の海で獲れるシラスは、良質なタンパク質やビタミン、カルシウムがたっぷり。

道の駅きんぼう木花館では、新鮮なまま釜ゆでにしたシラスをぜいたくに使い、シラスの甘みと磯の香りが絶品のしらす丼を味わえます。

【所在地】南さつま市金峰町池辺1383

【営業時間】物産館 午前9時～午後6時
レストラン 午前9時30分～午後3時

【休館日】1月1日～3日

【駐車場】130台

道の駅きんぼう木花館 ☎0993(77)3833



※利用時間や休業日などはおでかけ前に各施設にお問い合わせください。

4 吹上温泉 日置市吹上町湯之浦



その昔、伊作温泉の名で知られ湯治客でにぎわった吹上温泉は、起源を戦国時代までさかのぼるといわれています。明治になると西郷隆盛が湯治に訪れ、斉藤茂吉や野口雨情などの文人詩人にも愛された風情ある静かな温泉です。

日置市吹上支所地域振興課

☎099(296)2112

6 薩摩焼の里 美山 日置市東市来町美山

約400年前に島津義弘公が朝鮮から連れてきた陶工たちが、後に苗代川に移り住み開窯した美山。今でも多くの窯元が立ち並び、薩摩焼の技と心を伝えています。また薩摩焼だけでなく、ギターやガラス工房、手づくり雑貨店などの個性的な店舗も多くあります。

美山陶遊館では、陶工の指導を受けながら薩摩焼の陶芸体験が楽しめます。

【体験料】手ひねり体験1,470円、ろくろ体験1,995円

【駐車場】20台

美山陶遊館 ☎099(274)5778



8 ソマモンド

地元産のソバ粉を使い、地元加工グループがひとつひとつ手づくりしたお菓子。表面は柔らかく、中はサクッとしていて、口にするときソバとアーモンドの香りが広がります。

地元のイラストレーターがデザインしたパッケージには、吹上の民話を基にしたかわいいうい3羽の鳥が描かれています。

【所在地】日置市吹上町永吉8194

【営業時間】午前8時～午後4時

【休館日】不定休 【駐車場】50台

あじのふるさと館 ☎099(299)3570



ソマ(ソバの方言) + アーモンドで「ソマモンド」